



青春の涙



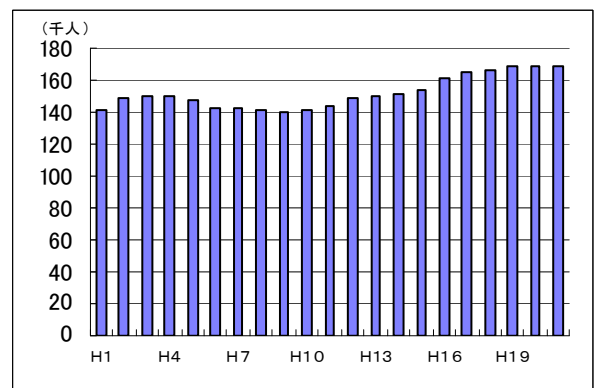
夏の“センバツ”では今年も熱戦が繰り広げられました。毎年のことですが、試合終了後、力の限りに戦った選手達の流す涙を見ると、こちらまでもらい泣きしようになります。(財)日本高等学校野球連盟(※1)(以下「高野連」)のデータによると、当連盟に加盟する学校の野球部員数は表1のとおりでした。これによると、1校あたりの部員数が多い府県は、近畿と九州地方に多いことがわかります。また、平成元年からの年度別部員数の推移をみると、今年度が169,449人で、平成9年(140,201人)からは毎年増加してきています(表2)。

(表1) 【平成21年度野球部員数】

順位	府県	平均人数 (1校あたり)	(参考)	
			部員総数	H21年代表校
1	沖縄県	51.9	3,269	興南
2	福岡県	50.6	6,782	九州国際大付
3	奈良県	50.0	2,149	天理
4	岡山県	48.6	2,771	倉敷商
4	熊本県	48.6	3,308	熊本工
6	京都府	47.6	3,713	龍谷大平安
7	兵庫県	46.1	7,657	関西学院
8	岐阜県	46.0	3,039	県岐阜商
9	大阪府	45.9	8,851	P L 学園
10	千葉県	44.8	7,924	八千代東

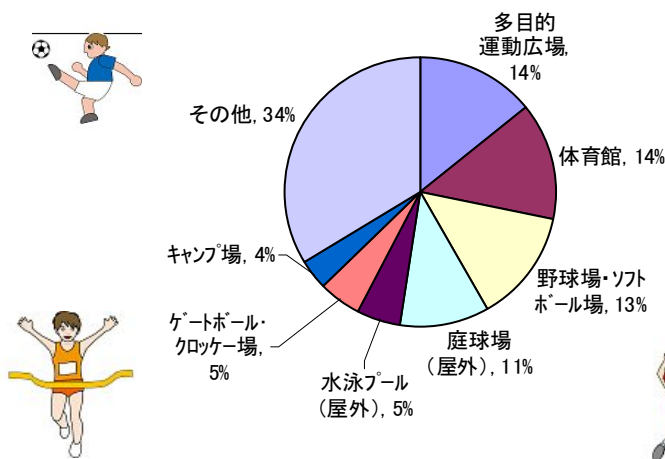
さて、高校球児も公式試合などで使用する野球場は全国でいくつあるでしょう。文部科学省の社会教育調査(※2)によると、全国には野球場(地方公共団体が設置したもの)が6,449施設、また熊本県には104施設あります。下のグラフ1、2は、全国及び熊本県の社会体育施設数の割合について示したのですが、野球場・ソフトボール場はいずれも3位になっています。また、熊本県に34施設ある剣柔道場の数は、北海道、福岡県に次いで第3位の多さでした。(茨城県同数)

(表2) 【野球部員数の推移(全国)】

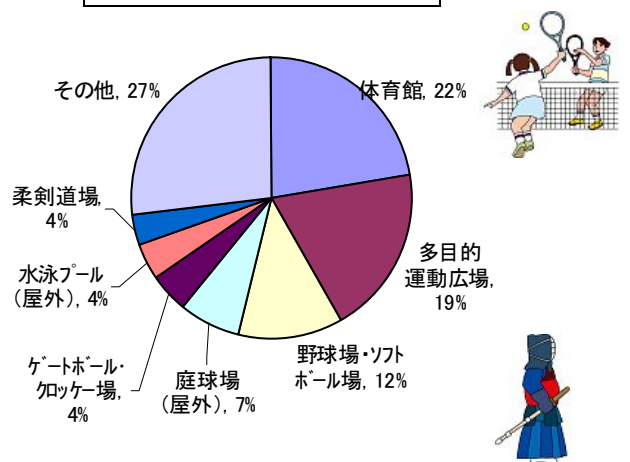


【社会体育施設数の割合】

(グラフ1) 全国(総数48,055施設)



(グラフ2) 熊本県(総数890施設)



個人的には、スポーツのあとの筋肉痛で涙が出そうになることはあっても、試合に負けて涙するという事はなくなりました。残暑厳しいこの頃ですが、スポーツの秋に向けて“試合に負けて泣いてしまうほど”熱中できるスポーツを見つけてみてはいかがでしょうか？

(※1)(財)日本高等学校野球連盟 <http://www.jhbf.or.jp/>(「資料」)

・高野連の大会参加者資格規定には「選抜高等学校野球大会(センバツ)等への参加資格は都道府県高野連に加盟した学校に限る(抜粋)」とされている。

(※2)社会教育調査 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/004/h17/003.htm

・野球場・ソフトボール場とは、固定したバックネットを有し、野球・ソフトボール専用のもの(「9 社会体育施設 第185表」参照)

